

# ご造営ニユース

たかまつじんじや  
高松神社

宮 司…大鳥居 亨

鎮座地…平戸市早福町二二九番地

ご祭神…高市姫命  
たかしろのひめのみこと

電話…〇九五〇—二七—〇二六九（宮司宅）



平戸市の南部にある早福町<sup>はやく</sup>は、平戸大橋を渡り南へ四十分ほど走った半農半漁の氏子数約六十戸の小さな集落です。現在は遊漁船等が有名となり、多くの釣り人で賑わっています。

当地区には、今回改築した「高松神社」と「神崎神社」の二社が鎮座し、氏子の繁栄を日々お祈り申し上げています。十一月に執り行われる高松神社例祭と旧暦六月の神崎神社祇園祭には、氏子の若者を中心にソフトボール大会を開催し、地域のつながりも大切になっています。

改築した高松神社の創建は不明ですが、以前の社殿は江戸時代に建立されたと伝えられています。長い歳月の間風雨にさらされ、時には修繕をしながら祭典を奉仕してきましたが、氏子より改築を求める声が多く、約十年間にわたり積み立てを行い改築が実現しました。

新しい社殿は、拝殿三間×四間、本殿・幣殿を合わせて一三・五坪になり、檜を多く用い、匠の卓越した技によって本年六月に竣工しました。七月一日には竣工大祭を斎行。新型コロナウイルスの影響により氏子以外の来賓参列はご遠慮いただき、午前十時より夕方まで、数十年ぶりの平戸大神楽を多くの氏子参列のもと奉納しました。また、改築に合わせて狛犬、石灯笼が奉納されるなど境内も整備され、当代の氏子の熱意が後世に伝えられる素晴らしい事業となりました。

総事業費…千五百万円